

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	備前地域ごみ処理広域化事業	コード	01-01-14-17
		担当課・係	環境課・衛生係
		担当者	森本和成
事業実施期間	平成19年度～	電話	64-1821
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり	
	小項目(施策)	ごみ処理	

事業について	
目的 (何のために)	ダイオキシン類の削減対策や最終処分場の確保の難しさ、リサイクルの必要性の高まり、公共事業の削減のに対応し、効率的にごみを処理し、施設整備が安価になることから計画されている新岡山県ごみ処理広域化計画に基づき、備前地域ごみ処理広域化を推進する。
対象 (誰・何を対象に)	備前ブロック(備前地域ごみ広域化対策協議会)
内容	備前地域ごみ処理広域化の計画

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
会議回数		4回	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等			
	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担			
	市債	市債	市債	市債	市債	市債	市債	市債			
合計	0	一般財源等	0	合計	1,585	一般財源等	1,585	合計	0	一般財源等	0

必要人員		人	0.15	人
結果指標	結果指標名			
	結果指標量			
	単位			
	対前年比	-		
	活動にかかるコスト	円		円
	単位当たりコスト	円		円

事業の成果		
どのような成果を得ようとしているか	備前地域ごみ広域化を進める。	
成果指標名	式又は説明	
	17年度	18年度
成果指標量		
対前年比	-	
到達目標値		到達目標年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	ダイオキシン類の削減対策等を踏まえたごみ処理広域化改革の策定が旧厚生省から通知され、岡山県では平成10年3月に計画を策定し、その後、その計画が見直され、平成19年3月に新たな「新岡山県ごみ処理広域化計画」が策定され、その計画に基づき協議会が設立されている。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	備前ブロックは、備前市、瀬戸内市、赤磐市和気町で構成されている。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	新岡山県ごみ処理広域化計画に基づき、備前地域ごみ処理広域化を推進している。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 平成19年度から事務局が和気町から赤磐市に変更となり、事務が徐々に前に進行している。
----------	---	---	--

目標値	結果指標量	結果指標量
	成果指標量	

総合評価	ごみの処理は避けられない問題であり、広域化は以前から協議されてきたが、前に進んでいなかったが、事務局が変更になり、事業が前に進んでいる。本市としても、今後とも推進する必要がある。	評価区分 <A~E> C
------	---	-----------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果